

■ 編集委員会から

編集委員長 石垣 (20期)

前回のOB山行は小野子山で群馬県、今回の鼻曲山は群馬県と長野県の境界、更に同期で今年亡くなった水田君の出身地は群馬県、小生の今年の夏休みは群馬県の草津町、ということで群馬県の話にしました。

群馬に行くとき目に入るのが「上毛」「両毛」などの文字。「両毛」ってどのあたり？「上毛」はあるけれど「下毛」はあるの？など疑問が沢山湧いてきたので調べてみました。

万葉の時代、現在の群馬・栃木あたりは「毛野国（けのくに）」と呼ばれ、その後、西の群馬側が「上毛野（こうづけのくに）」、東の栃木側が「下毛野（しもつけのくに）」となり、江戸時代ではそれぞれ「上野国（こうづけのくに）」、「下野国（しもつけのくに）」になったそうです。「かかあ殿下とからっ風」や「木枯し紋次郎」で有名な「上州（じょうしゅう）」はこの上野国の略式名。では下野国の略式名は？ 正解は下州ではなく「野州（やしゅう）」。「下」の文字は嫌だったのでしょうか。これで、群馬県と栃木県を繋ぐJR線が「両毛線」であることが理解できました。山行前にその地域のことを予習しておく、実際に見聞きすることがもっと楽しくなるかな、と真面目に思いました（実際に予習するか否かは・・・）。

上毛のことをご存じの方からは「何故、こんな当たり前のことを書くのか」と叱責されそうですが、小生が無知ということでお許し下さい。それでは、OB会員の皆さん、OB総会でお会いしましょう。